

定住自立圏構想

中心市宣言書

熊本県八代市

中心市宣言

我が国においては、本格的な人口減少・少子高齢社会が到来し、生産年齢人口の減少による経済の停滞とともに、中山間地域においては耕作放棄地の増加など、生活基盤の弱体化やコミュニティの脆弱化が生じるなど、これまで経験のない社会構造、地域情勢への大きな変革が見込まれています。

人口減少社会の到来に対応し、持続可能な地域社会を構築していくためには、広域的な連携のもとに地方圏として安心して暮らせる地域を形成し、都市圏への人口流出を抑制するとともに、都市圏から地方圏への人の流れを創出していくことが求められています。

本市は、東は宮崎県に境を接し、西は八代海を隔てて天草諸島を望み、多様で豊かな自然に囲まれながら、球磨川、氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地、県内有数の工業都市として発展してきました。九州縦貫自動車道等の高規格自動車道、九州新幹線等の鉄道に加え、県内最大の国際貿易港である八代港を有しており、九州の中心に位置する地理的優位性から、陸・海の交通の要衝として、その持てる力の十分な発揮が期待されています。

また、地域医療の拠点となる医療機関、高齢者施設等の福祉施設や高等教育機関のほか、歴史・文化施設や大型商業施設等、ゆとりある生活を継続していくために必要な都市機能を有しています。

このようなことから、本市は、生活圏域を共にする周辺自治体と互いの地域特性を活かした役割分担を図りながら、住民が安心して豊かな暮らしを続けられるよう圏域全体の活性化に向けて、定住自立圏構想における「中心市」となることをここに宣言します。

平成26年9月25日

八代市長 **中村 博生**

1 本市における都市機能の集積状況

本市は、政令指定都市である熊本市を除けば、県下最大の都市です。本市には、公共施設等による各種サービス機能、県南地域の拠点としての医療機能、その他民間分野に係る都市機能が集積し、すでに広域的に活用されており、定住自立圏を形成する中心市としての機能が確保されており、その集積状況は、以下のとおりです。

(1) 医療・福祉分野

都市機能	主な施設名
医療機関	病院（12）、一般診療所（119）、へき地診療所（2）、歯科（68）
公立病院	八代市立病院
第2次救急医療施設	熊本労災病院、熊本総合病院、八代市立病院
地域医療支援病院	熊本労災病院、熊本総合病院
災害拠点病院	熊本労災病院
児童相談所	熊本県八代児童相談所
乳児院	八代乳児院
児童養護施設	八代ナザレ園
主な児童福祉施設	公立保育園（13）、私立保育園（44）、ファミリー・サポート・センター、子育て支援センター（6）、こどもプラザ・つどいの広場（3）、病児・病後児保育施設（3）
主な高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム（11）、軽費老人ホーム（1）、ケアハウス（3） 老人福祉センター（1）、地域包括支援センター（6）
主な障がい者福祉施設	障害者支援施設（2）

(2) 教育分野

都市機能	主な施設名
幼稚園	市立幼稚園（6）、私立幼稚園（4）
小中一貫校	泉小学校・泉中学校
中高一貫校	八代高等学校・八代中学校
高等学校	八代高等学校、八代東高等学校、八代工業高等学校、八代農業高等学校、八代農業高等学校泉分校、八代清流高等学校、八代白百合学園高等学校、秀岳館高等学校
短期大学	中九州短期大学、熊本高等専門学校八代キャンパス
専修専門学校	熊本労災看護専門学校、八代実業専門学校、I E C熊本国際大学校

(3) 情報・娯楽・文化・スポーツ分野

都市機能		主な施設名
ケーブルテレビ局		ひこいちテレビ、八代市ケーブルテレビ
シティエフエム局		エフエムやつしろ
大型文化ホール		八代市厚生会館、八代市千丁文化センター、八代市鏡文化センター、やつしろハーモニーホール
図書館		八代市立図書館、せんちょう分館、かがみ分館
博物館		八代市立博物館未来の森ミュージアム
大型スポーツ施設		熊本県営八代運動公園、八代市総合体育館、八代市スポーツ・コミュニティ広場、八代市民球場
公民館・出張所等		公民館(20)、出張所(10)
史跡・文化財等		国指定重要文化財(6)、国指定重要無形民俗文化財(1)、国指定史跡(1)、国指定名勝(2)、県指定重要文化財(16)、県指定重要無形民俗文化財(2)、県指定重要民俗文化財(1)、県指定史跡(6)、市指定文化財(196)、県指定天然記念物(2)、国登録文化財(5)、重要美術品(3)、国選択無形民俗文化財(2※県指定と重複)
観光レクリエーション施設	観覧施設	松浜軒、松中信彦スポーツミュージアム、さかもと八竜天文台、石匠館、五家荘平家の里、五家荘草花資料館、緒方家、左座家、久連子古代の里
	温泉・健康等	日奈久温泉センター「ばんぺい湯」、さかもと温泉センター「クレオン」、坂本憩いの家、パトリア千丁、東陽交流センターせせらぎ 上記以外：日奈久(16)、坂本(1)、太田郷(1)
	スポーツレクリエーション	八代ゴルフ倶楽部、日奈久ドリームランド「シ・遊・湯」
	都市・買物	八代よかこ物産館、広域交流センターさかもと、千丁特産品販売所美湯菜館、ふれあいセンターいずみ、菜摘館
	歴史・自然	矢山岳山頂公園、八竜山自然公園、石橋公園、黒瀬河川自然公園、釈迦院
	その他	ウインズ八代、日奈久ゆめ倉庫、さかもと青少年センター
宿泊施設等		ホテル旅館(36)、ビジネスホテル(6)、民宿(11)、公共宿泊施設(2) キャンプ場(2)

(4) 商業・金融分野

都市機能		主な施設名
大規模商業施設		イオン八代ショッピングセンター、ゆめタウン八代
商店街		本町1～3丁目商店街、通町商店街
金融機関等		地方銀行等(9)、第二地方銀行(5)、信用金庫(4)、信用組合(2)、労働金庫(1)、政策金融公庫(1)、その他(1)、郵便局(31)、簡易郵便局(8)

(5) 交通分野

都市機能	主な施設名
鉄道（九州新幹線）	新八代駅
鉄道（JR鹿児島本線）	八代駅、新八代駅、千丁駅、有佐駅（4駅）
鉄道（JR肥薩線）	八代駅、段駅、坂本駅、葉木駅、鎌瀬駅、瀬戸石駅（6駅）
鉄道（肥薩おれんじ鉄道）	八代駅、肥後高田駅、日奈久温泉駅、肥後二見駅（4駅）
路線・循環バス	路線バス：田浦線、松橋線（国道経由）、松橋線（県道経由）、種山線、種山線（八農分校線）、種山線（市役所発着）、君ヶ淵線、君ヶ淵線（市役所発着）、大門瀬線、東町線、産島線、産島線（大島経由）、平和町線、宮原線、宮原線（養護学校経由）、坂本線、新八代駅線、椎原線、甲佐・氷川ダム線、八代駅線（20系統） 循環バス：みなバス（右回り・左回り）、まちバス、ゆめバス（4系統）
乗合タクシー	坂本町、東陽町、泉町（3地域）
高速バス	B&Sみやざき（新八代～宮崎：九州新幹線接続高速バス） なんふう号（熊本～八代IC～人吉～宮崎） きりしま号（熊本～八代IC～人吉～鹿児島） フェニックス号（福岡～久留米～八代IC～人吉～宮崎） すーぱーばんぺいゆ（八代市内各所～阿蘇くまもと空港～運転免許センター）
港湾等	県管理港：八代港（外港、内港、加賀島、大島） 市管理港：日奈久港、鏡港、植柳漁港、二見漁港、大鞘漁港
高規格幹線道路	九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車道
道路	一般国道：3号、219号、443号、445号 主要地方道：八代鏡宇土線、坂本人吉線、宮原五木線、八代鏡線 小川泉線、芦北坂本線、その他一般県道等

(6) 広域施設・その他

都市機能	主な施設名
公園等	運動公園（1）、特殊公園（1）、都市緑地（9）、地区公園（1）、近隣公園（11）、街区公園（40）
土地改良区	八代平野北部土地改良区、八代平野南部土地改良区、八の字土地改良区、八代平野土地改良区連合、水島土地改良区、麦島土地改良区、八代市平山土地改良区、日奈久平野土地改良区
農業協同組合	八代地域農業協同組合本所、総合支所（4）、支所（5）その他（22）
給水施設	上水道、下水道、工業用水、簡易水道

(7) 消防・防災施設等

都市機能	主な施設名
常備消防施設	八代広域行政事務組合 消防本部 八代消防署（分署：新開、日奈久、坂本）、鏡消防署（分署：泉）
非常備消防施設	消防団詰所（30）、車庫（110）、ポンプ小屋（108）

(8) 行政機関

都市機能	主な施設名
国の機関	熊本地方検察庁八代支部（法務省） 熊本地方法務局八代支局（法務省） 長崎税関八代税関支署（財務省） 八代税務署（財務省） 熊本労働局八代公共職業安定所（厚生労働省） 熊本労働局八代労働基準監督署（厚生労働省） 九州農政局八代地域センター（農林水産省） 熊本南部森林管理署五家荘森林事務所（農林水産省） 熊本南部森林管理署柿迫森林事務所（農林水産省） 熊本南部森林管理署河俣森林事務所（農林水産省） 熊本南部森林管理署八代森林事務所（農林水産省） 熊本南部森林管理署坂本森林事務所（農林水産省） 門司植物防疫所鹿児島支所八代出張所（農林水産省） 熊本海上保安部八代海上保安署（国土交通省） 国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所（国土交通省） 熊本河川国道事務所八代維持出張所（国土交通省） 熊本港湾・空港整備事務所八代港事務所（国土交通省） 自衛隊熊本地方協力本部八代出張所（防衛省）
裁判所	熊本家庭裁判所八代支部 熊本地方裁判所八代支部 八代簡易裁判所
熊本県	県南広域本部 八代地域振興局 八代保健所 八代児童相談所 八代教育事務所 八代警察署

2 本市における都市機能の利用状況

本市に集積する主な都市機能の利用状況は、以下のとおりであり、すでに本市が圏域において中心的な役割を担っており、周辺自治体と密接な関係にあることがうかがえます。

(1) 医療体制

施設名	利用者数 (人)	八代市		氷川町		その他	
		利用者	割合	利用者	割合	利用者	割合
熊本総合病院	外来 126,684	95,161	75.1	5,228	4.1	26,295	20.8
	入院 119,213	81,708	68.5	5,477	4.6	32,028	26.9
熊本労災病院	外来 144,760	110,021	76.0	10,389	7.2	24,350	16.8
	入院 131,095	95,378	72.8	9,353	7.1	26,364	20.1
八代市医師会立病院	外来 5,702	5,246	92.1	285	5.1	171	3.0
	入院 99	96	97.1	0	0	3	3.0
八代市立病院	外来 9,014	8,480	94.1	189	2.1	345	3.8
	入院 21,773	20,713	95.1	495	2.3	565	2.6

出典：平成 25 年度の各病院施設の利用状況等調べ（企画政策課調べ）

(2) 大型文化ホール

施設名	ホール利用件数	集会室等利用件数	
八代市厚生会館	158	744	
八代市千丁文化センター	53	255	ホワイエ 3
八代市鏡文化センター	48	354	ホワイエ 24
やつしろハーモニーホール	277	3,912	

出典：八代市統計年鑑平成 25 年度版

(3) 大型スポーツ施設

施設名	利用件数	利用者数
熊本県営八代運動公園	9,786	74,124
八代市総合体育館	20,298	158,008
八代市スポーツコミュニティ広場	4,012	45,982
八代市民球場	121	16,871

出典：八代市統計年鑑平成 25 年度版（いきいきスポーツ課「体育施設使用状況資料」）

熊本県営八代運動公園 提供資料

(4) 図書館

施設名	蔵書冊数	貸出冊数	登録者数	利用者数
八代市立図書館	270,271	321,611	40,247	75,222
せんちょう分館	62,491	100,032	3,152	22,396
かがみ分館	66,365	90,228	6,324	17,481

出典：八代市統計年鑑平成 25 年度版（市立図書館「図書館システム集計表、図書館要覧」）

(5) 博物館

施設名	観覧者総数	うち「友の会」会員延べ観覧者数
八代市立博物館未来の森ミュージアム	28,283	1,173

出典：八代市統計年鑑平成 25 年度版

(6) 主要駅の年間乗降客数

施設名	乗車人員数	降車人員数
八代駅	817,600	810,700
八代駅（肥薩おれんじ鉄道）	131,837	98,054
新八代駅（在来線駅）	339,300	342,600
新八代駅（新幹線駅）	330,700	321,500

出典：八代市統計年鑑平成 25 年度版（九州旅客鉄道(株)熊本支社、肥薩おれんじ鉄道(株)）

(7) 幼稚園（市立）

施設名	定員数	施設名	定員数
代陽幼稚園	160	麦島幼稚園	125
太田郷幼稚園	160	松高幼稚園	160
植柳幼稚園	125	千丁幼稚園	90

出典：学校教育課 提供資料

(8) 幼稚園（私立）

施設名	定員数	施設名	定員数
聖愛幼稚園	40	八代白百合幼稚園	120
八千把幼稚園	160	松寿幼稚園	85

出典：企画政策課調べ

(9) 高等学校

施設名	総数（人）	八代市	氷川町	その他
八代高等学校	733	636	31	66
八代東高等学校	432	291	20	121
八代農業高等学校	271	149	32	90
八代農業高等学校泉分校	67	17	3	47
八代工業高等学校	734	641	14	79
八代工業高等学校（定時制）	44	36	2	6
八代清流高等学校	509	406	37	66
八代白百合学園高等学校	403	299	20	84
秀岳館高等学校	1204	532	21	651

出典：県高校教育課、私学振興課（平成26年5月1日現在）

(10) 大学等

施設名	総数（人）	八代市	氷川町	その他
中九州短期大学	254	137	3	114
熊本高等専門学校八代キャンパス	751	516	21	214

出典：平成25年度の学校施設の利用状況等調べ（企画政策課調べ）

(11) 保育園（公立）

施設名	定員数	施設名	定員数
太田郷ひびき保育園	60	鏡保育園	120
高田あけぼの保育園	60	鏡第二保育園	45
宮地さくら保育園	45	北新地保育園	60
金剛みどり保育園	60	河俣保育園	25
郡築しおかぜ保育園	70	栗木保育園（H26.4.1～休園）	25
白島ぎんが保育園	45	下岳保育園	45
千丁みどり保育園	120		

出典：こども未来課 提供資料

(12) 保育園（私立）

施設名	定員数	施設名	定員数
白鷺保育園	90	八代つくし保育園	120
昭和保育園	60	八代ひまわり保育園	90
八千把保育園	90	天真保育園	40
くおん保育園	90	わかみや保育園	70

みずほ保育園	60	バンビ保育園	60
二見中央保育園	60	光嶺保育園	50
高田東部保育園	120	海士江保育園	140
夕葉保育園	70	パール保育園	80
いずみ保育園	90	わらび保育園	120
ゆかり乳児保育園	70	揚町保育園	80
からたち保育園	40	ひかり夜間保育園	20
八代ひかり保育園	220	あさひ保育園	50
やすらぎ保育園	60	真愛保育園	20
キューピー保育園	50	川岳保育園	60
ひので保育園	140	わかあゆ保育園	50
たから保育園	100	あけぼの保育園	100
杉の実保育園	90	若葉保育園	60
和晃保育園	60	文政保育園	110
つるまる保育園	140	鏡しらぬい保育園	50
しらぬい保育園	110	有佐保育園	70
八代白梅保育園	60	文政第二保育園	50
八代双葉保育園	80	太陽保育園	40

出典：こども未来課（定員数は H26. 4. 1 現在）

(13) 子育て支援センター

施設名	利用者数	相談件数
子育て支援センター	3,672	29
南部子育て支援センター	9,731	219
北部子育て支援センター	7,580	175
ひまわり子育て支援センター	7,004	66
千丁子育て支援センター	8,168	76
鏡子育て支援センター	4,741	157

出典：こども未来課（利用者数は、育児講座や広場利用等の延べ人数）

(14) 病児・病後児保育事業、こどもプラザ

事業・施設名	利用者数（延べ人数）	登録・相談件数
病児・病後児保育事業	645	登録者数 350
こどもプラザ すくすく	9,807	相談件数 1,968
こどもプラザ わくわく	3,193	相談件数 572

出典：こども未来課 提供資料（病児・病後児保育事業、こどもプラザすくすく：平成 25 年度）
（こどもプラザわくわく：平成 26 年 6 月～8 月）

3 本市と周辺自治体と連携することを想定する取組み

圏域全体の生活機能の活性化を図り、人口定住の推進のため周辺自治体と連携することを想定する取組みは、次のとおりです。

(1) 生活機能の強化のための取組み

①医療

医療体制の充実と地域医療ネットワークの形成等を図ります。

②福祉

子育て支援の推進と高齢者等に対する支援体制の充実等を図ります。

③教育

子どもの健全育成、スポーツ・文化活動への支援体制の充実等を図ります。

④土地利用

地域特性を活かした農業の展開等、有効な土地利用等を図ります。

⑤産業振興

くまもと県南フードバレー構想及び八代港利用の促進をはじめ、農林水産業の振興や商工業の振興を図るとともに、雇用の創出等を図ります。

⑥その他

通常時や非常時に関わらず、住民の生活に関係する施設等との連携を図ります。

(2) 結びつきやネットワークの強化

①地域公共交通

便利で快適な公共交通の構築等を図ります。

②情報基盤の整備

情報通信格差解消のため、携帯電話等エリアの拡大及び超高速通信網等の整備促進を図ります。

③道路等の交通インフラの整備

主要幹線道路及び圏域内の拠点施設を結ぶ道路の整備促進等を図ります。

④地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

くまもと県南フードバレー構想の促進と学校給食等への地元食材導入など地産地消の拡大等を図ります。

⑤地域内外の住民との交流・移住促進

都市圏における地域のPR等や地域資源を活かしたツーリズム等で交流人口の拡大を図ります。

⑥上記のほか、結びつきやネットワークの強化に係る取組み

観光ネットワークの連携・強化等を図ります。

(3) 圏域マネジメント能力の強化

① 中心市等における人材の育成

地域の担い手や各種NPO等の人材の育成等を図ります。

② 中心市等における外部からの行政及び民間人の確保

国や県、民間人の確保と交流人事等を図ります。

③ 上記のほか、圏域マネジメント能力の強化に係る取組み

その他圏域マネジメント能力の強化に関する取組み等を行います。

4 本市に対する通勤・通学者の状況

周辺自治体からの通勤・通学者数の状況

自治体名	常住する就業者・通学者数 a	本市への就業者・通学者数 b	通勤通学者割合 c=b/a
氷川町	4,539 人	1,723 人	0.38
芦北町	7,181 人	1,042 人	0.15

出典：平成22年度国勢調査 従業地・通学地による人口・産業等集計

「常住する就業者・通学者数 a」

参考：就業者・通学者数とは、「常住地による従業・通学市区町村、男女別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」中「総数」のうち「15歳以上就業者」及び「15歳以上通学者」の合計から自宅において従業する者の数を控除して得た数値をいう。

(定住自立圏構想推進要綱中「第2 この要綱において用いる人口等」抜粋)